



## 2011年3月期第3四半期決算説明会



新日本製鐵株式會社  
2011年1月28日

# 本日のご説明内容

---

1. 2011年3月期第3四半期決算実績
2. 2011年3月期年度損益見通し
3. 剰余金の配当方針
4. グローバル戦略の取り組み状況
5. ご参考

執行役員 太田 克彦

## 1. 2011年3月期第3四半期決算実績



# 2011年3月期第3四半期 連結決算実績概況

(億円)

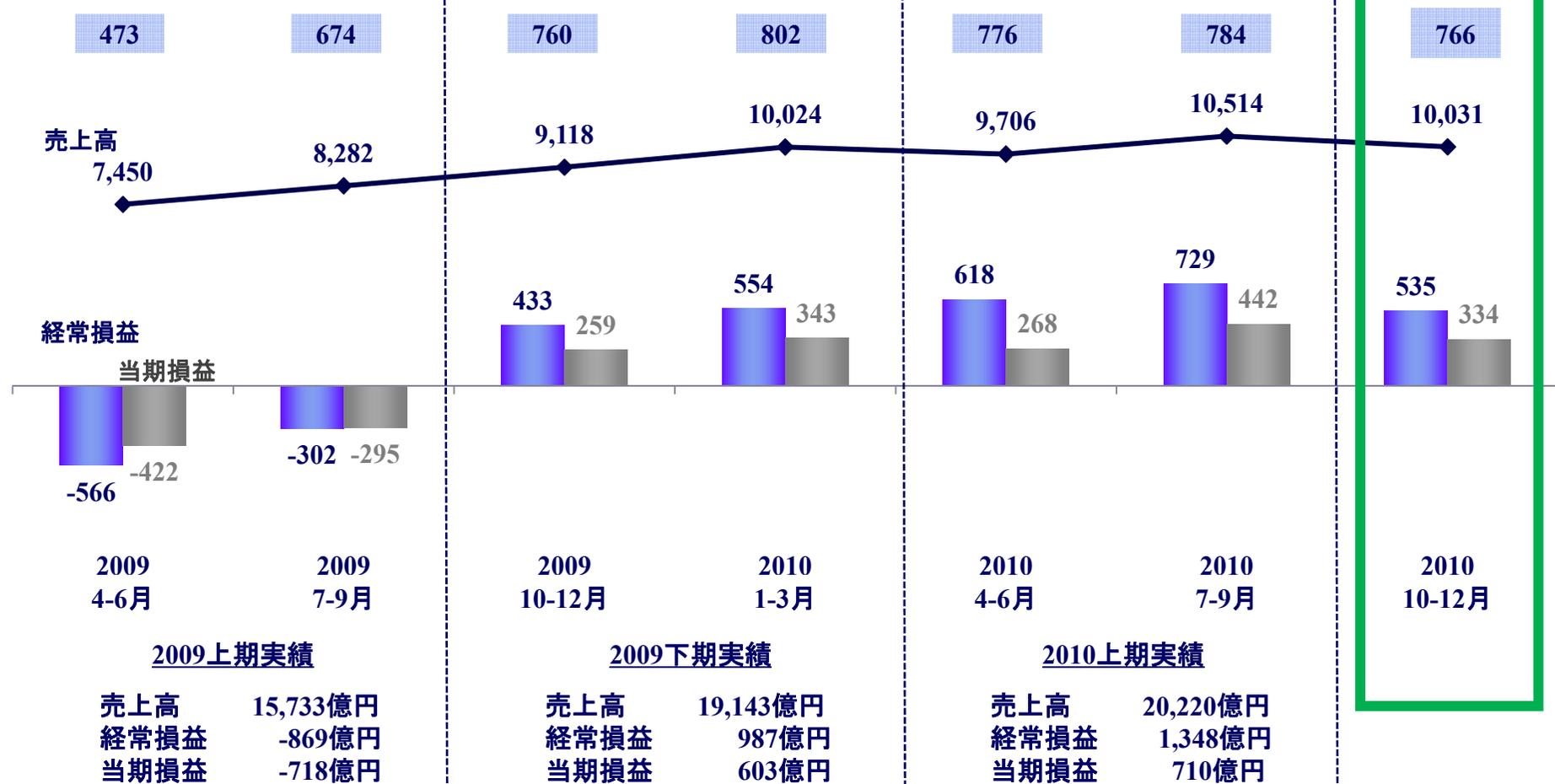
2009年度第3四半期累計実績(4-12月)

売上高 24,852億円  
 経常損益 -436億円 当期損益 -458億円

2010年度第3四半期累計実績(4-12月)

売上高 30,252億円  
 経常損益 1,883億円 当期損益 1,044億円

当社鋼材出荷量(万t)



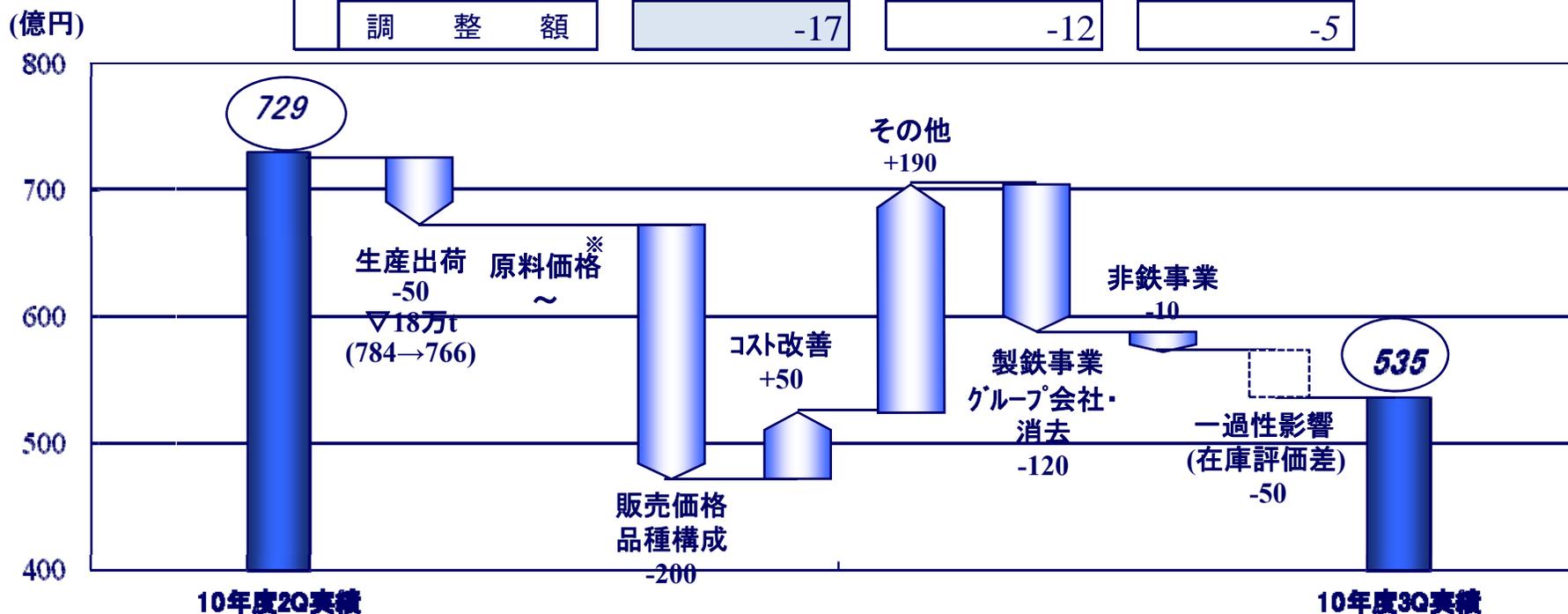
# 2011年3月期第3四半期 損益実績(連結・単独)

(単位:億円)

	10年度			増減		
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	2Q→3Q	3Q累計差	前年3Q実績差
売上高	9,706	10,514	10,031	-483	+5,400	+913
営業損益	510	670	339	-331	+1,836	-58
経常損益	618	729	535	-194	+2,319	+102
単独	422	185	124	-61	+1,901	-7
グループ会社等	196	544	411	-133	+418	+109
特別損益	-72	-	-1	-1	-9	-1
当期損益	268	442	334	-108	+1,502	+75
<一株当たり当期利益>	<4.3>	<7.0>	<5.3>	<-1.7>	<+23.9>	<+1.2>
有利子負債残高	13,744	13,821	13,998	+177		-1,072
D/Eレシオ	0.78	0.77	0.75	-0.02		-0.09

# 2011年3月期第3四半期 連結損益実績分析(対同年2Q実績)

(単位:億円)	10年度 3Q実績 (A)	10年度 2Q実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	10,031	10,514	-483
経常損益	535	729	-194
単独	124	185	-61
鉄グループ会社	311	426	-115
非鉄	117	130	-13
調整額	-17	-12	-5



# 2011年3月期第3四半期 セグメント別累計損益実績(対前年同期)

(単位:億円)

	10年度3Q累計実績 (A)		売上高 経常利益率	09年度3Q累計実績 (B)		売上高 経常利益率	増減(A←B)	
	売上高	経常損益		売上高	経常損益		売上高	経常損益
連 結 計	30,252	1,883	6.2%	24,852	-436	-1.8%	+5,400	+2,319
製 鉄	25,780	1,611	6.2%	20,125	-721	-3.6%	+5,655	+2,332
非 鉄 計	5,333	337		5,677	356		-344	-19
エンジニアリング	1,789	91	5.1%	2,317	191	8.3%	-528	-100
都市開発	547	67	12.2%	572	38	6.7%	-25	+29
化学	1,446	93	6.4%	1,320	71	5.4%	+126	+22
新 素 材	460	15	3.3%	441	-2	-0.5%	+19	+17
システム ソリューション	1,091	71	6.5%	1,024	57	5.6%	+67	+14
調 整 額	-864	-67		-950	-72		+86	+5

第1四半期より、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、セグメント別損益は、経常損益ベースにて記載

# 主要上場グループ会社等損益実績

<2011年1月28日時点>

会社名	決算発表日	(億円)	09年度 実績	10年度 上期実績	10年度 3Q累計実績
-----	-------	------	------------	--------------	----------------

## ■ 製鉄事業

大阪製鐵 [上場] 5449	連 62%	2011/1/27	売上高	637	354	525
			経常利益	76	43	57
			当期損益	42	39	47
鈴木金属工業 [上場] 5657	連 66%	2011/2/2	売上高	349	256	N.A.
			経常利益	5	17	N.A.
			当期損益	-0	7	N.A.
新日鐵住金ステンレス [非上場]	連 80%	2011/1/28	売上高	1,977	1,281	1,910
			経常利益	19	-19	-19
			当期損益	10	-8	-10
日鐵商事 [上場] 9810	持 34%	2011/1/28	売上高	9,196	5,232	N.A.
			経常利益	78	59	N.A.
			当期損益	52	35	N.A.
太平工業 [上場] 1819	連 41%	2011/2/4	売上高	1,676	705	N.A.
			経常利益	143	55	N.A.
			当期損益	76	46	N.A.
黒崎播磨 [上場] 5352	持 46%	2011/2/10	売上高	828	468	N.A.
			経常利益	30	30	N.A.
			当期損益	39	19	N.A.

## ■ 非鉄事業

新日鐵ソリューションズ [上場] 2327	連 67%	2011/1/28	売上高	1,522	737	1,092
			経常利益	112	44	70
			当期損益	63	15	39

2010年度第3四半期末

当社連結対象会社数 : 335社

対前期末 +7社

〔連結子会社: 262社  
持分法適用関連会社: 73社〕

<主な変動>

2010年10月

NSユナイテッド海運(株)

日鉄海運(株)と新和海運(株)の  
合併

2010年10月

太平工業(株)の連結子会社化

## 連結貸借対照表 (2010/3月末→12月末)

(単位: 億円)

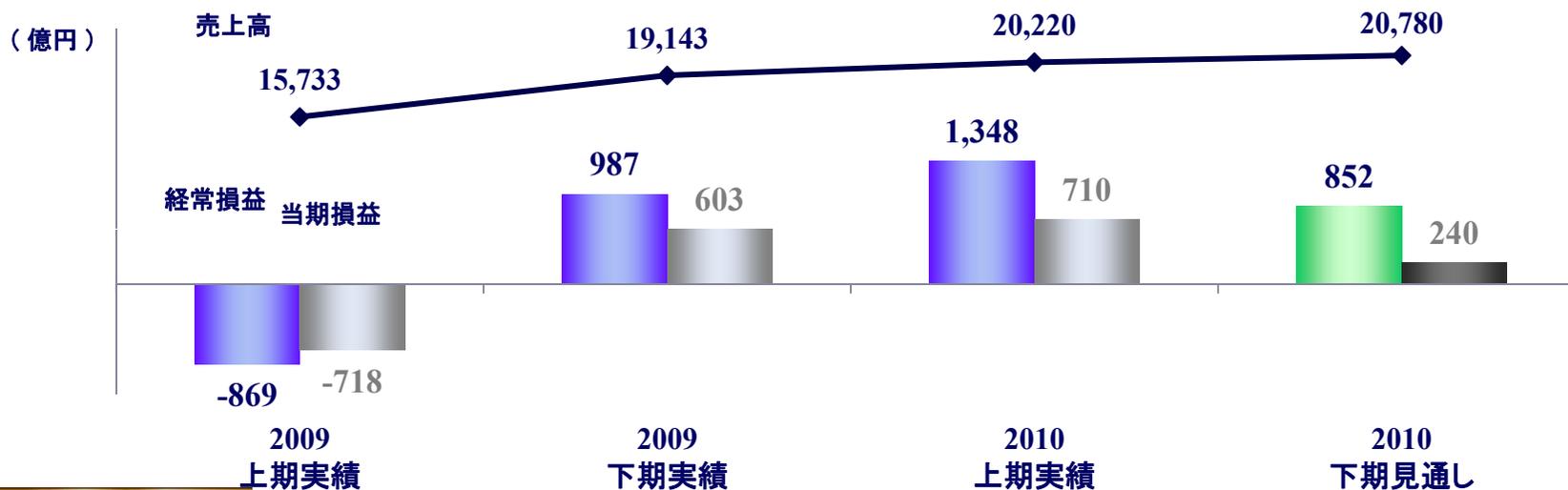
資産の部	10/12末	10/03末	増減	負債及び純資産の部	10/12末	10/03末	増減
流動資産	17,530	16,421	+1,109	流動負債	13,902	13,700	+202
現金及び預金	818	781	+37	支払手形及び買掛金	4,873	4,498	+375
受取手形及び売掛金	4,332	4,578	-246	短期借入金・コマーシャルペーパー・社債	4,059	3,827	+232
たな卸資産	9,862	8,547	+1,315	その他	4,969	5,374	-405
その他	2,517	2,514	+3	固定負債	12,656	12,966	-310
固定資産	32,833	33,602	-769	社債・長期借入金	9,852	9,918	-66
有形	18,573	18,783	-210	その他	2,804	3,047	-243
無形	593	468	+125	負債計	26,558	26,667	-109
投資等	13,666	14,349	-683	株主資本	18,055	17,131	+924
(うち時価評価差額)	(1,597)	(2,657)	(-1,060)	評価・換算差額	488	1,312	-824
				少数株主持分	5,261	4,912	+349
				純資産計	23,805	23,356	+449
資産計	50,364	50,023	+341	負債及び純資産計	50,364	50,023	+341

## 2. 2011年3月期損益見通し



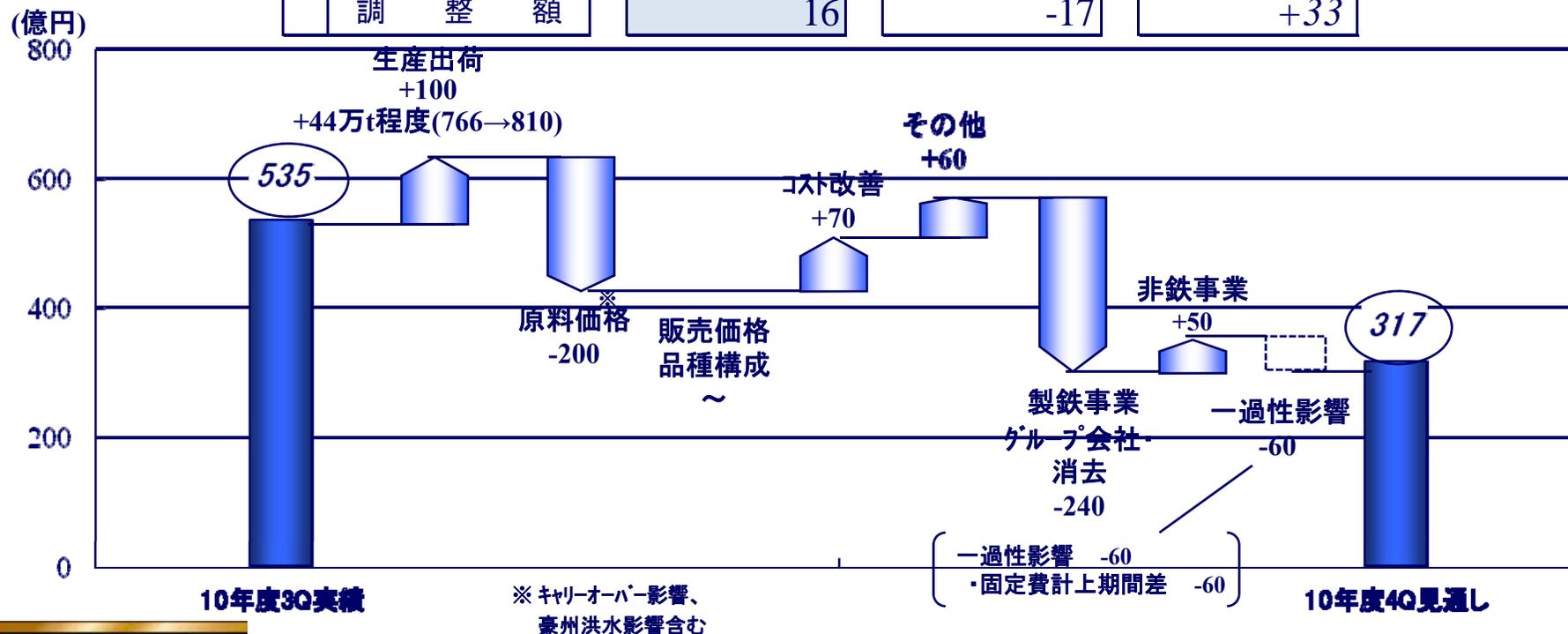
# 2011年3月期 年度決算見通し

(億円)	10年度見通し (A)				10年度見通し (A)	09年度実績 (B)		増減 (A←B)	
	上期実績	3Q実績	4Q見通し	下期見通し		上期実績	下期実績		
売上高	20,220	10,031	10,749	20,780	41,000	15,733	19,143	34,877	+6,123
営業損益	1,181	339	130	469	1,650	-714	1,034	320	+1,330
経常損益	1,348	535	317	852	2,200	-869	987	118	+2,082
単独	608	124	68	192	800	-1,299	349	-949	+1,749
グループ会社等	740	411	249	660	1,400	430	638	1,068	+332
特別損益	-72	-1	-	-1	-73	-64	58	-6	-67
当期損益	710	334	-94	240	950	-718	603	-115	+1,065
〈一株当たり当期損益〉	<11.3>	<5.3>	<-1.5>	<3.8>	<15.1>	<-11.4>	<9.6>	<-1.8>	<+16.9>
有利子負債残高	13,821	13,998				14,677		13,837	-13,837
D/Eレシオ	0.77	0.75				0.86		0.75	-0.75



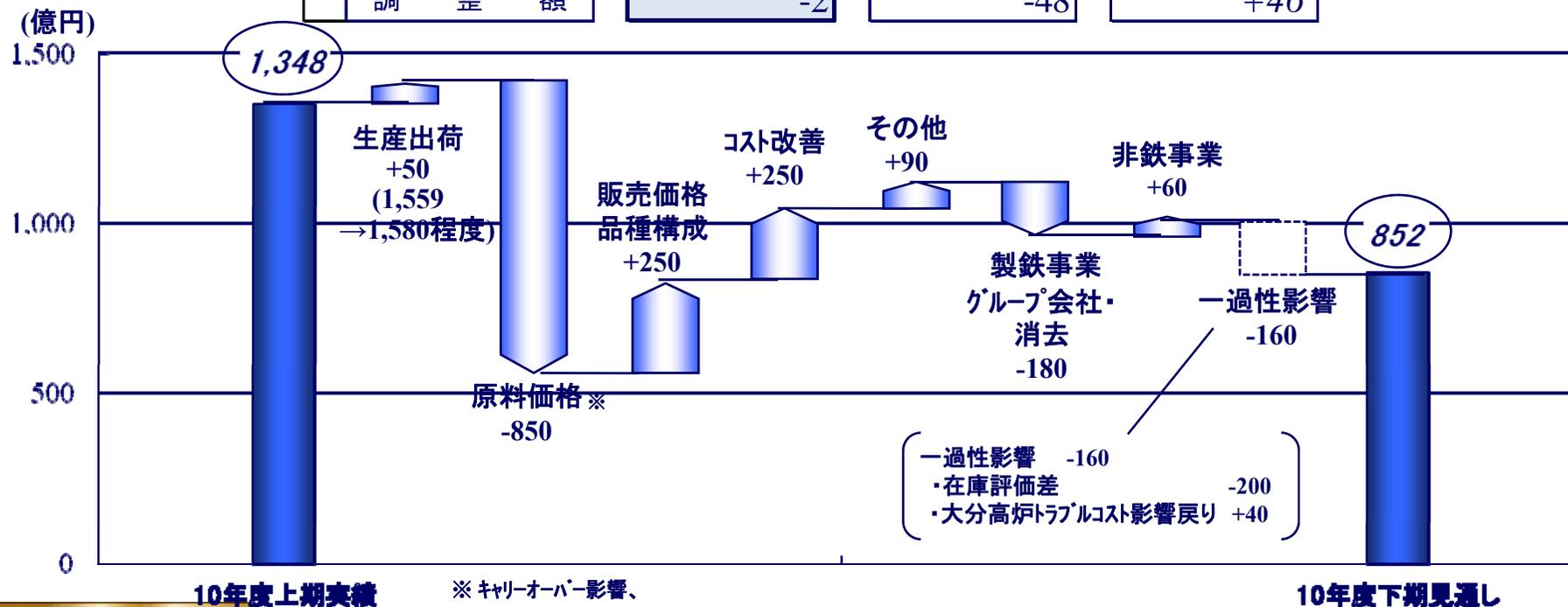
# 2011年3月期連結年度決算見通し分析(3Q実績対4Q見通し)

(単位:億円)	4Q見通し (A)	3Q実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	10,749	10,031	+718
経常損益	317	535	-218
単独	68	124	-56
鉄グループ会社	71	311	-240
非鉄	163	117	+46
調整額	16	-17	+33



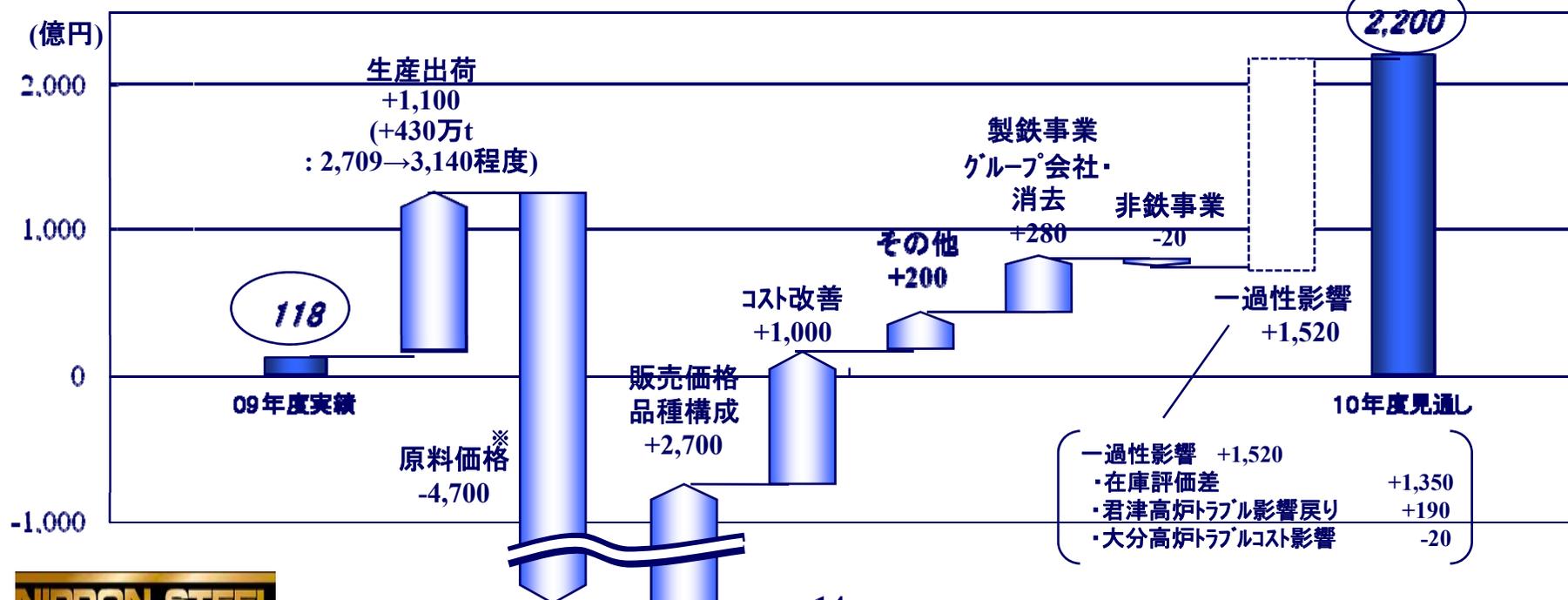
# 2011年3月期連結年度決算見通し分析(上期実績対下期見通し)

(単位:億円)	10年度 下期見通し (A)	10年度 上期実績 (B)	増減 (A ← B)
売上高	20,780	20,220	+560
経常損益	852	1,348	-496
単独	192	608	-416
鉄グループ会社	382	567	-185
非鉄	280	220	+60
調整額	-2	-48	+46



# 2011年3月期 連結年度決算見通し分析(前年度実績比)

(単位:億円)	10年度 年度見通し (A)	09年度 年度実績 (B)	増減 (A←B)	10年度 前回見通し (C)	増減 (A←C)
売上高	41,000	34,877	+6,123	41,500	-500
経常損益	2,200	118	+2,082	2,500	-300
単独	800	-949	+1,749	1,000	-200
鉄グループ会社	950	664	+286	1,150	-200
非鉄	500	519	-19	440	+60
調整額	-50	-115	+65	-90	+40



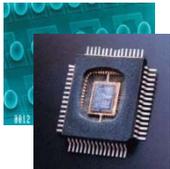
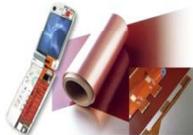
# 2011年3月期 セグメント別損益実績(対前年比)

(単位:億円)

	10年度見通し (A)		売上高 経常利益率	09年度実績 (B)		売上高 経常利益率	増減(A←B)	
	売上高	経常損益		売上高	経常損益		売上高	経常損益
連 結 計	41,000	2,200	5.4%	34,877	118	0.3%	+6,123	+2,082
製 鉄	34,500	1,750	5.1%	28,231	-285	-1.0%	+6,269	+2,035
非 鉄 計	7,800	500		8,024	519		-224	-19
エンジニアリング	2,700	150	5.6%	3,319	292	8.8%	-619	-142
都市開発	900	90	10.0%	800	17	2.1%	+100	+73
化学	2,000	120	6.0%	1,794	91	5.1%	+206	+29
新素材	600	20	3.3%	587	5	1.0%	+13	+15
システム ソリューション	1,600	120	7.5%	1,522	111	7.3%	+78	+9
調 整 額	-1,300	-50		-1,379	-115		+79	+65

第1四半期より、セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、セグメント別損益は、経常損益ベースにて記載

# 製鉄以外5事業セグメントの概況



		売上高	経常損益
<b>エンジニアリング</b> 製鉄プラント、環境ソリューション、 海洋、エネルギー、橋梁、建築	10年度見通し	2,700	150
	(対前年比)	(-619)	(-142)
<b>都市開発</b> 住宅、都市開発、 大規模地域開発、ビルマネジメント	10年度見通し	900	90
	(対前年比)	(+100)	(+73)
<b>化学</b> コルケカル、化学品、機能材料	10年度見通し	2,000	120
	(対前年比)	(+206)	(+29)
<b>新素材</b> 半導体・電子産業部材、 産業基礎部材、エネルギー・環境部材	10年度見通し	600	20
	(対前年比)	(+13)	(+15)
<b>システムソリューション</b> 業務ソリューション、基盤ソリューション ビジネスサービス	10年度見通し	1,600	120
	(対前年比)	(+78)	(+9)
<b>非鉄計</b>	10年度見通し	7,800	500
	(対前年比)	(-224)	(-19)

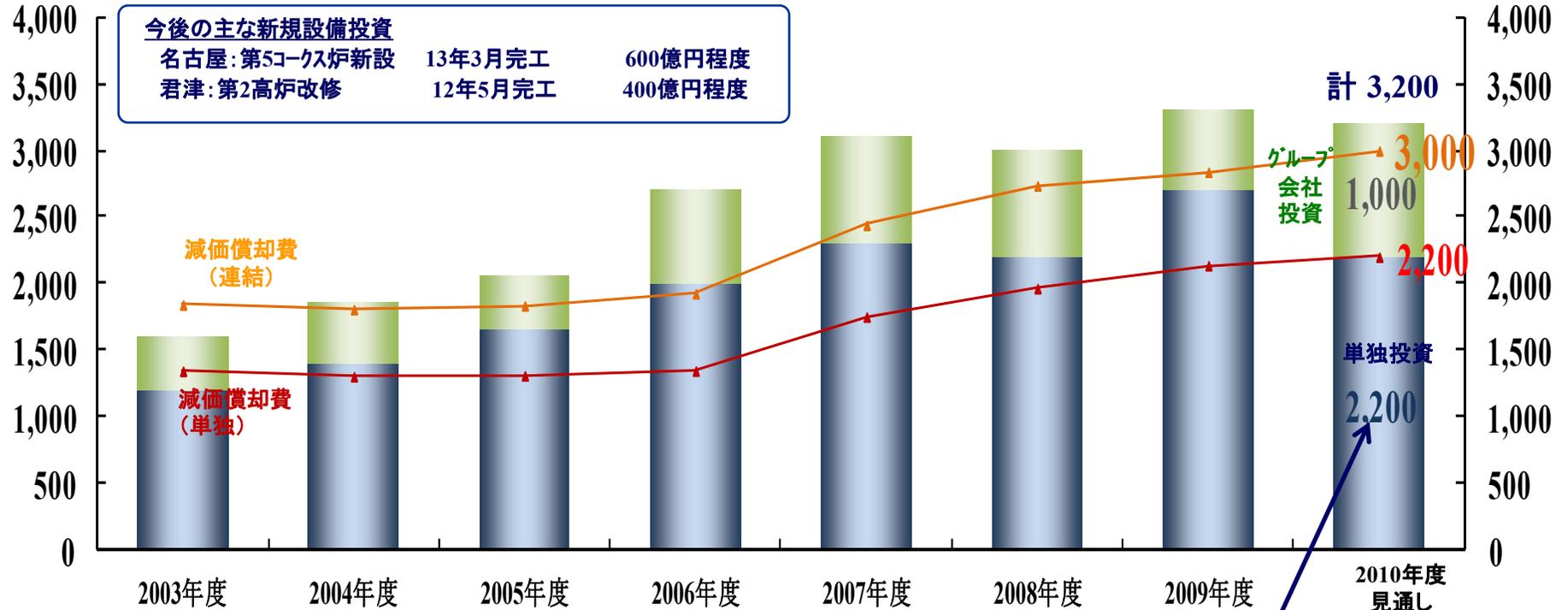
概況		
今年度の受注は回復を見込むも、前年度受注規模減少の影響により、売上高・経常損益ともに大幅な減収減益。		
cf) 事業環境		
	09FY	10FY見
受注高	2,050	3,700
受注残	2,300	3,300
マンション市況回復に伴う収益性向上により増収増益の見通し。		
ニードルコークスの生産出荷量増や化学品の市況回復等で増収・増益の見通し。		
半導体・電子部材需要は、一部事業で調整局面が継続し、競争も激化傾向にあるが、全般的には堅調に推移する見通し。		
ベンダー間の競争激化が継続しているが、引き続き受注の確保・収益の向上に取組み、対前年増収増益の見通し。		

# 設備投資・減価償却費

上段：連結 (下段：単独)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 見通し
設備投資額	1,600 (1,200)	1,850 (1,400)	2,050 (1,650)	2,700 (2,000)	3,100 (2,300)	3,000 (2,200)	3,300 (2,700)	3,200 (2,200)
減価償却費	1,840 (1,340)	1,805 (1,299)	1,833 (1,306)	1,925 (1,342)	2,440 (1,749)	2,737 (1,963)	2,840 (2,136)	3,000 (2,200)

減価償却費(億円)

設備投資額(億円) 工事ベース



安価原料使用拡大対策 能力増強・高級鋼対応 コスト削減  
老朽更新・補修 製造基盤整備・安全防災環境

### 3. 剰余金の配当方針

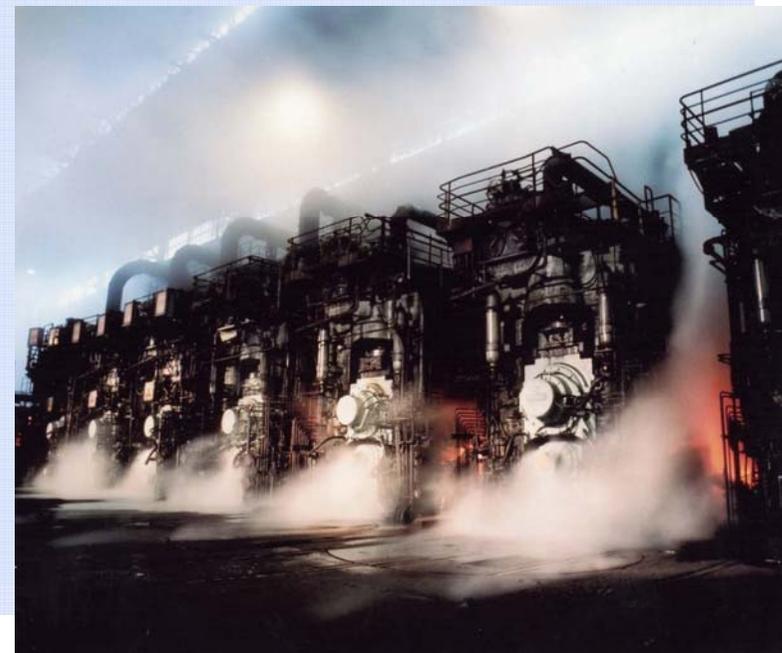


# 剰余金の配当方針

---

期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針及び  
今期の業績見通し等を踏まえ、1株につき3円(連結配当性向20%)と  
させていただく方針と致しました。

## 4. グローバル戦略の取り組み状況



# 平成23(2011)年度中期経営計画のコンセプト

---

＜2010年1月28日公表＞

1. **コスト競争力の確立と技術先進性の追求**
2. **グローバル成長戦略・国内外アライアンス  
の着実な推進**
3. **成長戦略と強固な財務体質維持の両立**
4. **グループ各社とのシナジー効果最大化  
(製鉄、エンジニアリング、都市開発、化学、新素材、  
システムソリューション の6セグメント体制推進)**

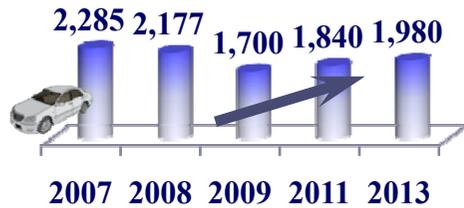
# 新たな成長軌道の構築に向けて <2010年1月28日公表>

## 伸びゆく海外マーケットの成長需要・地域ニーズの的確な捕捉

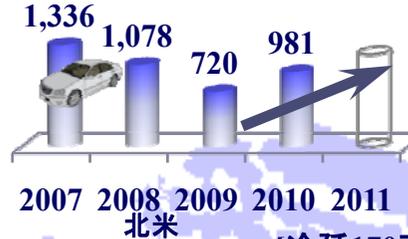


総合力No.1企業に相応しい企業体質・成長力・収益力を有する  
真の「グローバル企業グループ」の実現

# グローバル自動車用鋼板等供給体制



海外JV生産合計  
650万トン  
(当社持分換算  
300万トン程度)



**米国**  
I/N Tek 40%  
I/N Kote 50%

**欧州**  
Arcelor Mittal社/技術クロスライセンス

**中国**  
BNA 38%

[冷延176万トン/CAPL95万トン/CG80万トン]  
#3CGLライン[45万トン]稼働(2010年2月)



**新日鉄**

**メキシコ**  
TENIGAL 49%

新CGLライン[40万トン]稼働(2013年)



**タイ**  
SUS 45%

[冷延 100万トン]



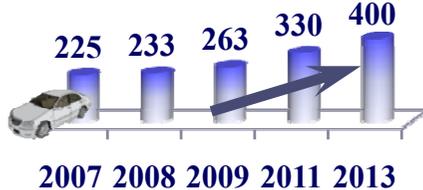
**ブラジル**  
UNIGAL 30%

[CG 48万トン]  
#2CGLライン[55万トン]増設(2011年)



**インド**  
TATA社とのJV 49%

新冷延ライン[60万トン]稼働(2013年度中)

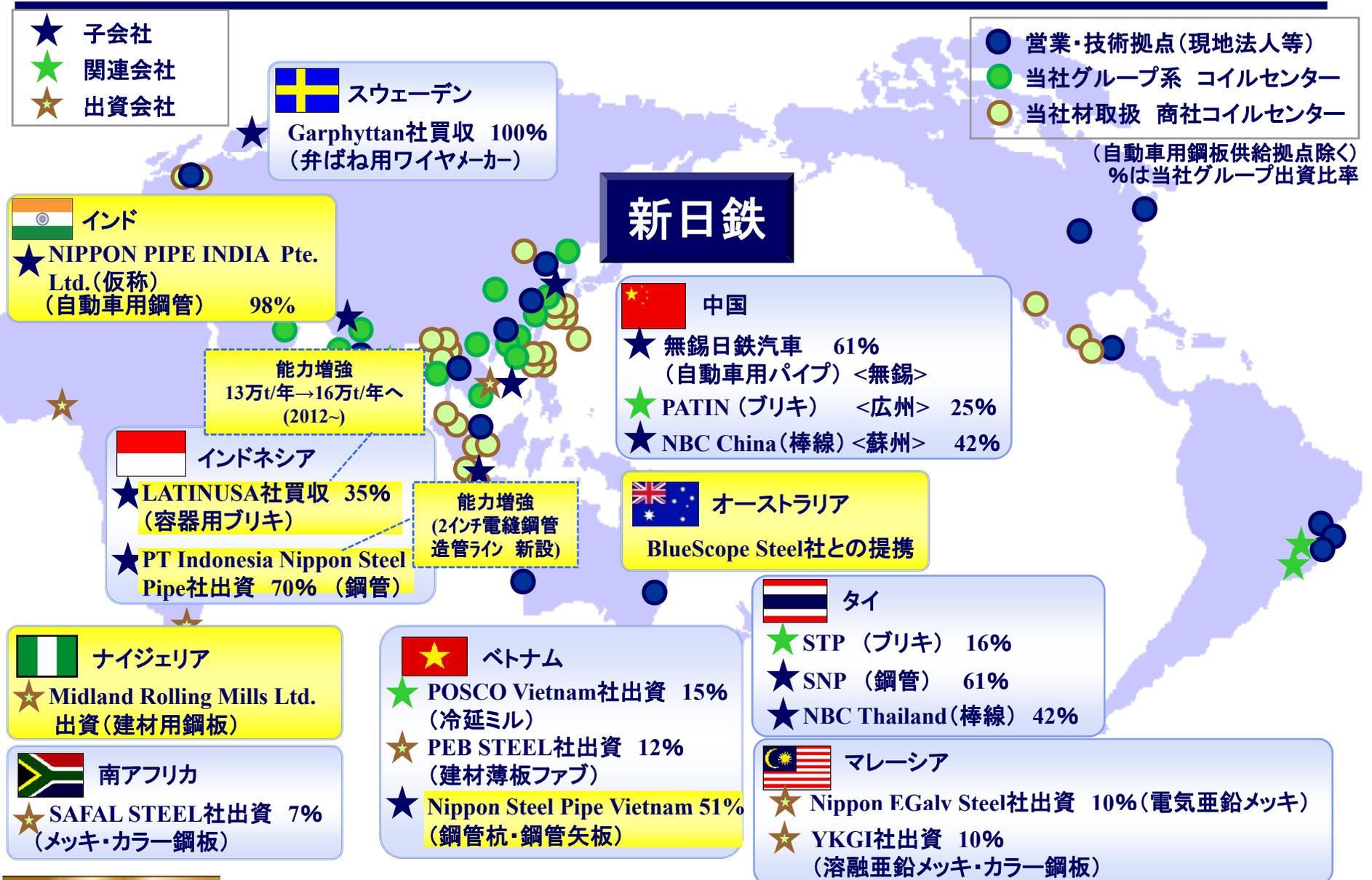


完成車生産台数  
(実績・予測)万台



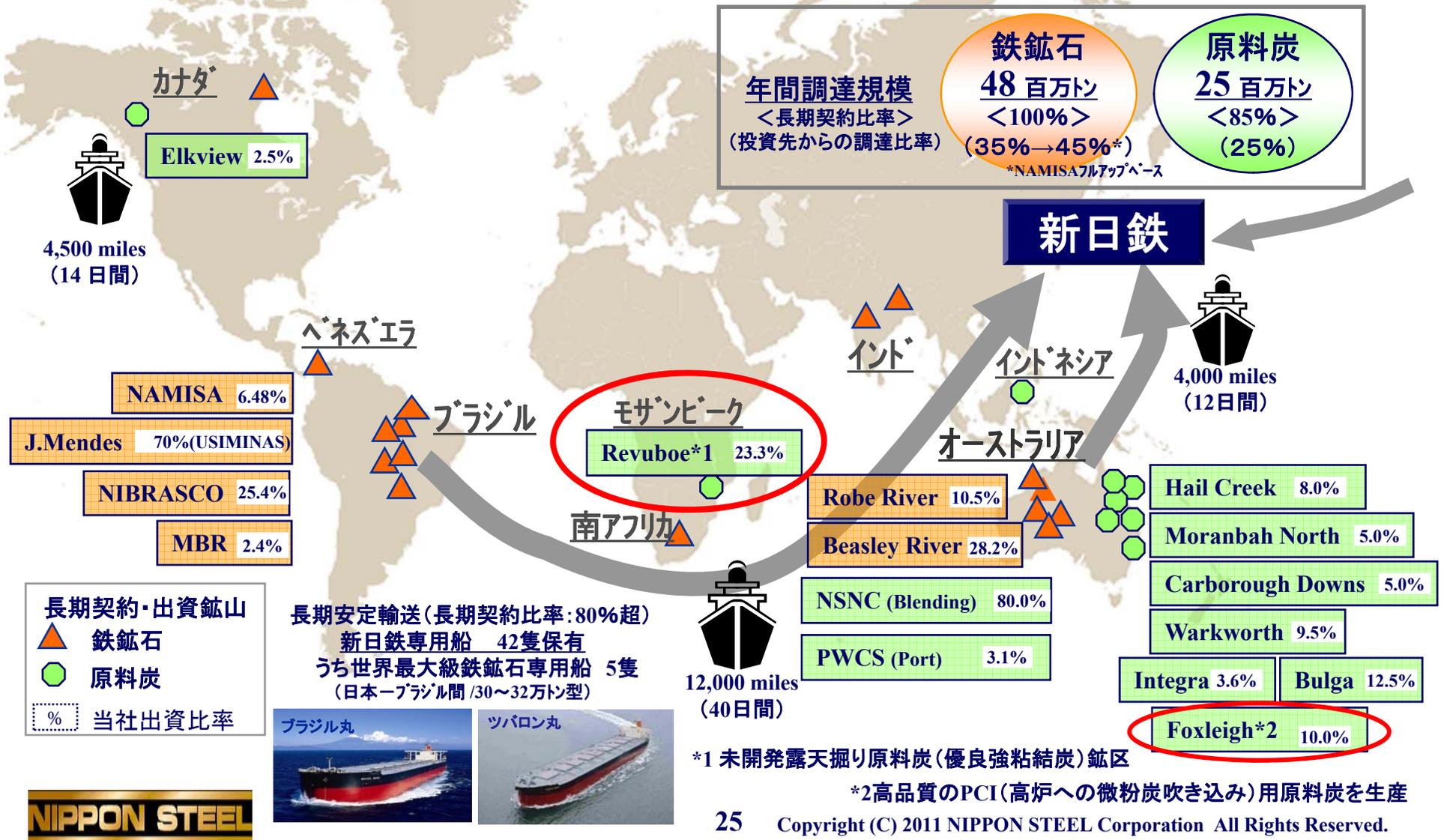
(出所: 各種公表情報等・当社推定) 2007 2008 2009 2011 2013

# 新興国需要の捕捉



# 当社の原料対策

優良な原料権益の取得・使用ソースの拡大(投資先からの調達比率アップ)



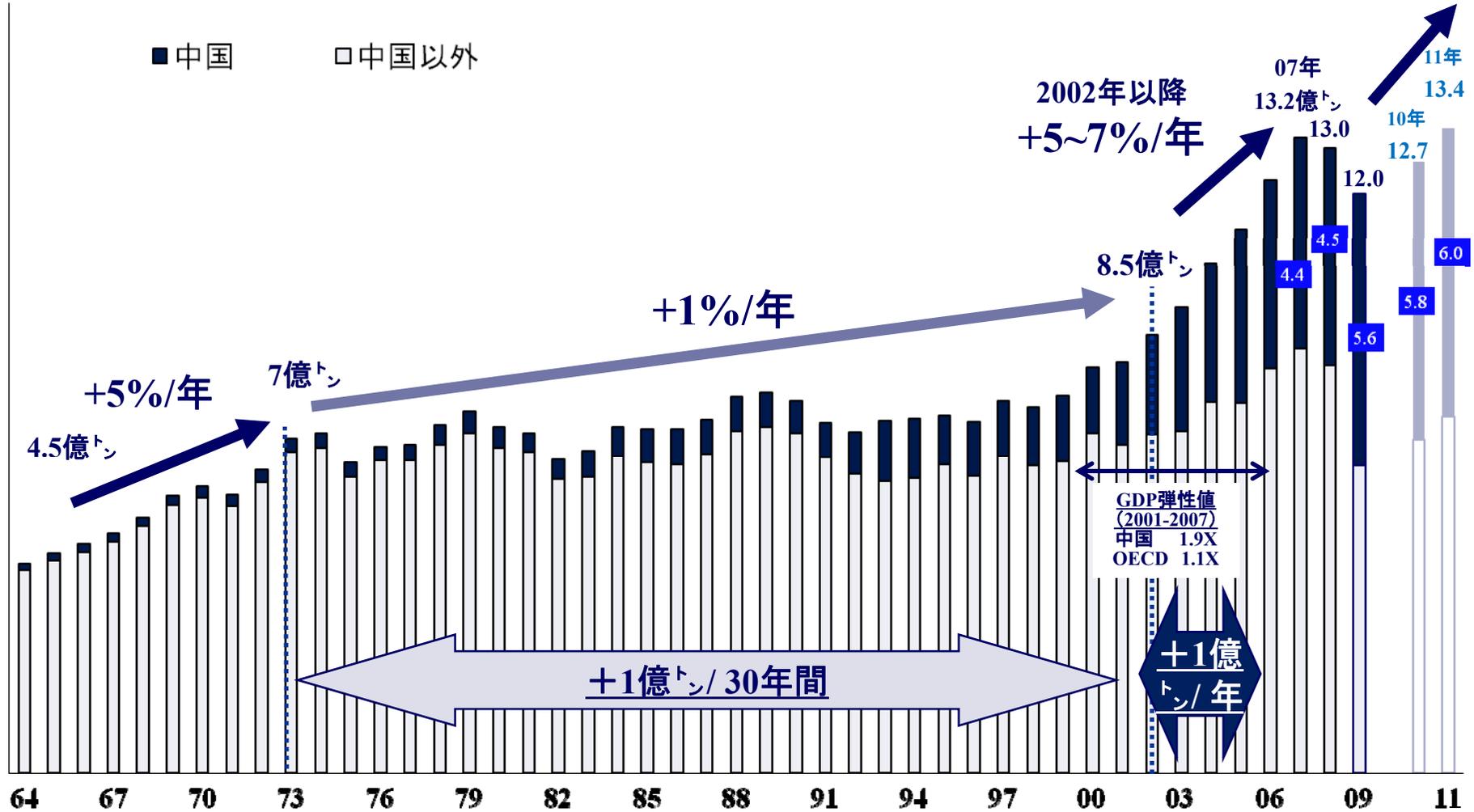
## 5. ご参考



# 世界の鉄鋼需要推移(粗鋼見掛消費)

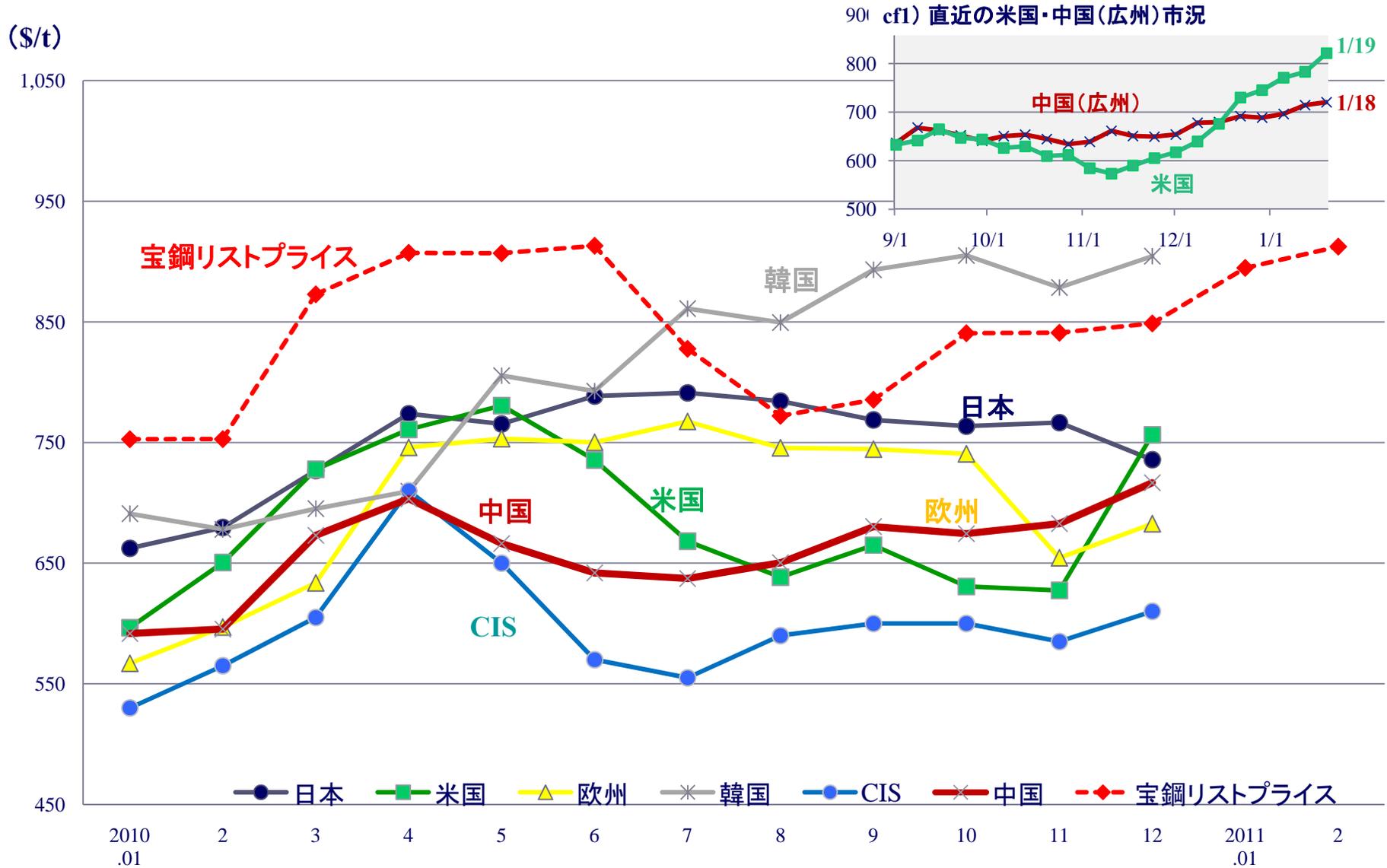
世界合計 <2007年> 13.2億トン → <08年実績> 13.0億トン → <09年実績> 12.0億トン → <10年予測> 12.7億トン → <11年予測> 13.4億トン

(WSA 10年10月発表、10年・11年は鋼材見掛消費(10年10月発表))



(出所: world steel association)

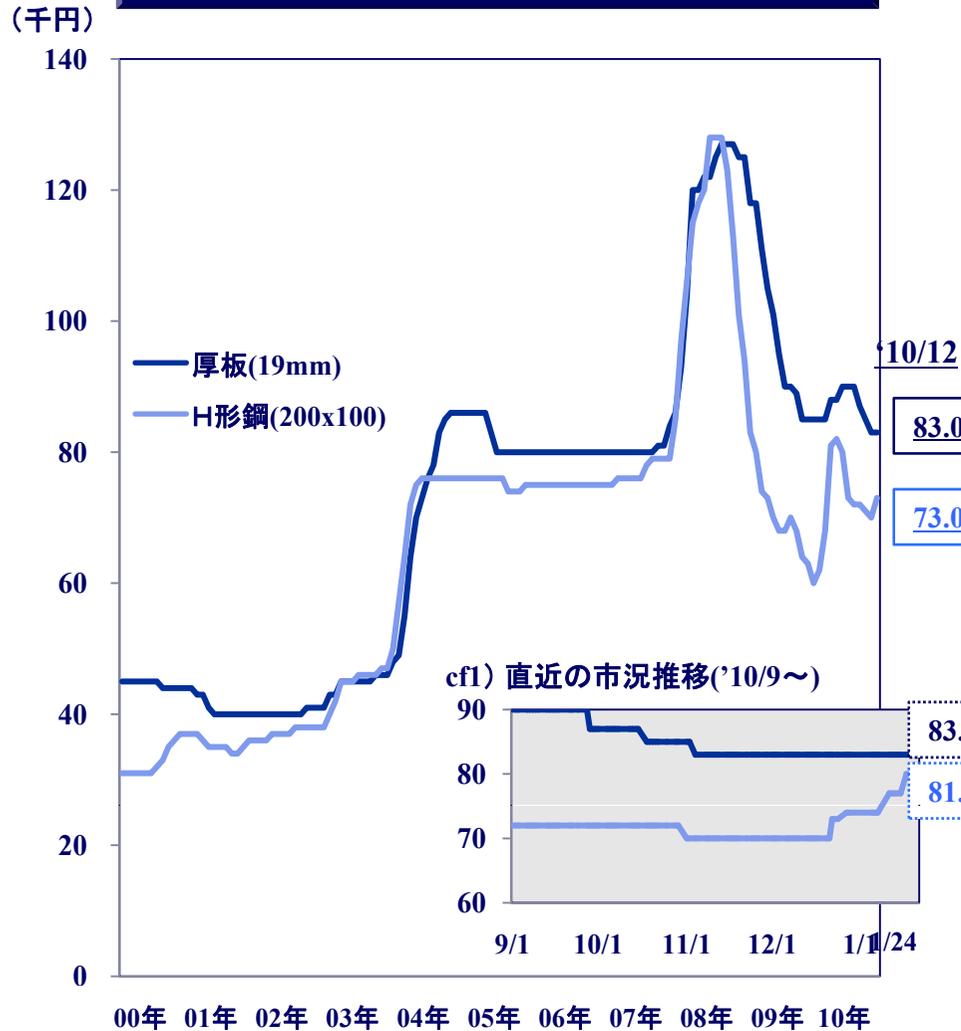
# 世界各国ホットコイル市況推移



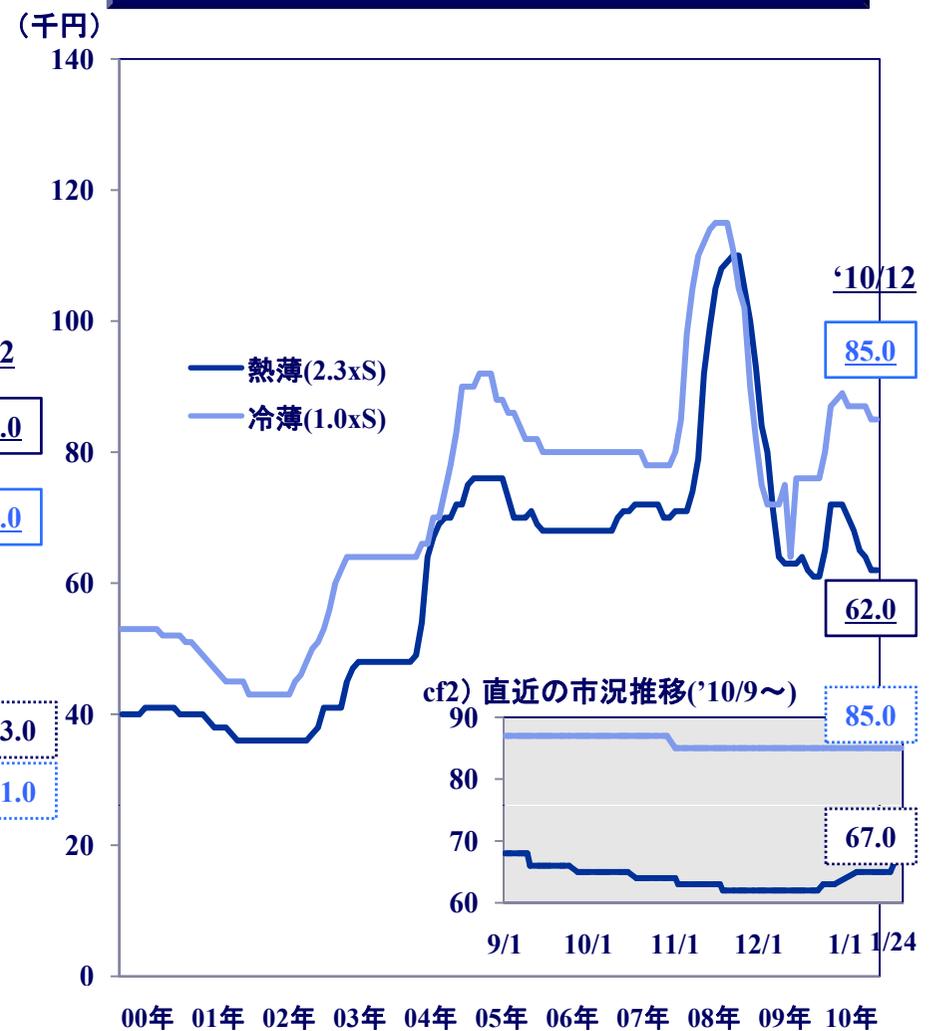
(出所: 日本鉄鋼連盟等)

# 国内鋼材市況（店頭価格）

## 厚板・H形鋼



## 熱延薄板・冷延薄板



# 世界の経済成長率推移

<2011年1月25日IMF改定値>

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010 前回(2010.10.6)		2011 見通し	
世界合計	3.6	4.9	4.4	5.1	5.2	3.0	-0.6	4.8	5.0	4.2	4.4
先進諸国	1.9	3.2	2.6	3.0	2.7	0.5	-3.2	2.7	3.0	2.2	2.5
米国	2.5	3.6	3.1	2.8	2.1	0.4	-2.4	2.6	2.8	2.3	3.0
欧州	0.8	2.1	1.6	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.7	1.8	1.5	1.5
日本	1.4	2.7	1.9	2.4	2.3	-1.2	-5.2	2.8	4.3	1.5	1.6
新興諸国	6.3	7.5	7.1	7.9	8.3	6.1	2.4	7.1	7.1	6.4	6.5
中国	10.0	10.1	10.4	11.6	13.0	9.6	8.7	10.5	10.3	9.6	9.6
インド	6.9	7.9	9.1	9.8	9.4	7.3	5.7	9.7	9.7	8.4	8.4
ASEAN5 *	5.8	6.1	5.5	5.7	6.3	4.7	1.7	6.6	6.7	5.4	5.5
ロシア	7.3	7.2	6.4	7.4	8.1	5.6	-7.9	4.0	3.7	4.3	4.5
ブラジル	1.1	5.7	3.2	3.8	5.7	5.1	-0.2	7.5	7.5	4.1	4.5

\*ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所: IMF 世界経済見通し)

# 世界粗鋼生産量

(単位:百万t)

	2008暦年	2009暦年										2010暦年
			1-3月	4-6月	7月	8月	9月	7-9月	10月	11月	12月	
世界 合計	1,327.2	1,229.4	343.9	364.6	114.8	112.9	111.7	339.4	117.4	114.6	116.2	1,413.6
日本	118.7	87.5	26.5	28.1	9.2	8.9	9.2	27.4	9.5	9.0	9.2	109.6
米国	91.4	58.2	19.6	21.2	6.7	6.9	6.6	20.2	6.5	6.4	6.7	80.6
欧州	198.0	138.8	42.5	47.0	13.9	12.1	14.3	40.4	15.5	14.7	13.0	172.9
ロシア	68.5	60.0	15.7	16.9	5.6	5.6	5.6	16.8	5.7	5.7	5.9	67.0
ブラジル	33.7	26.5	8.0	8.4	3.0	2.9	2.7	8.5	2.9	2.6	2.4	32.8
インド	57.8	62.8	16.1	16.2	5.8	5.7	5.6	17.1	5.8	5.4	5.6	66.8
中国	500.3	573.6	157.9	165.3	51.7	51.6	47.9	151.3	50.3	50.2	51.5	626.7

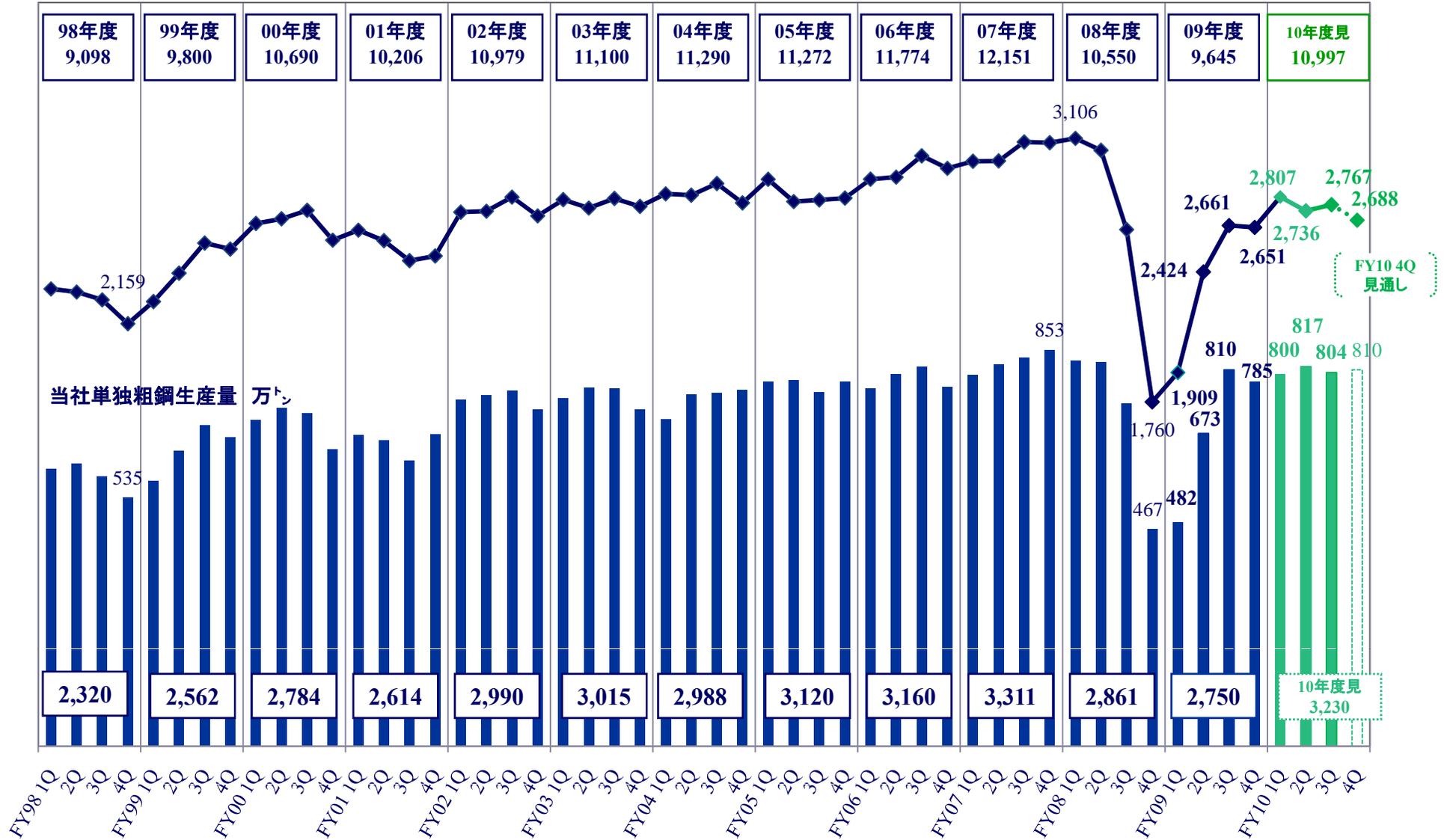
対前年同月比生産減

(出所: World Steel Association)

# 全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量 万ト

(2010/12/27 経済産業省発表)



# 製鉄事業諸元前提

	09年度					10年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績	1Q	2Q	3Q	4Q見	年度見通し
全国粗鋼生産量 万トン	1,909	2,424	2,661	2,651	9,645	2,807	2,736	2,767	2,688	10,997
当社出銑量 <sup>*1</sup> 万トン	484	635	770	768	2,657	777	814	815	810	3,210
連結粗鋼生産量 万トン 〈参考〉当社単独	537 <482>	738 <673>	872 <810>	845 <785>	2,992 <2,750>	863 <800>	872 <817>	868 <804>	870 <810>	3,470 <3,230>
当社鋼材出荷量 万トン	473	674	760	802	2,709	776	784	766	810	3,140
当社販売価格 千円/トン	88.4	72.7	72.5	72.7	75.4	79.1	86.4	81.4	81.0	82.0
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	33.1	38.9	38.8	41.3	38.4	42.5	38.7	39.8	41.0	40.0
為替レート ¥/\$	97	95	89	90	92	93	86	83	85	87

\*1 北海製鉄の出銑量含む

## 主要需要分野の鋼材消費推移

	09年度					10年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績	1Q	2Q	3Q	4Q見	年度見通し
国内鋼材消費 万トン	1,336	1,424	1,486	1,494	5,740	1,475	1,519	1,534	1,517	6,045
製造業比率	62.1%	65.3%	66.8%	67.7%	65.5%	68.1%	67.1%	65.9%	66.8%	67.0%
普通鋼鋼材消費 万トン	1,075	1,132	1,192	1,209	4,608	1,176	1,224	1,236	1,228	4,864
建設 万トン	479	465	466	458	1,868	443	471	495	478	1,887
製造業 万トン	596	667	726	751	2,740	733	753	741	750	2,977
(うち造船) 万トン	144	145	150	154	593	144	143	140	139	566
(うち自動車) 万トン	203	250	280	287	1,020	274	281	264	280	1,099
特殊鋼鋼材消費 万トン	261	292	294	285	1,132	299	295	298	289	1,181

(出所:各種統計資料・当社推定)

# 主要需要分野の活動水準推移

		09年度					10年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績	1Q	2Q	3Q	4Q見	年度見通し
建築	住宅着工戸数 万戸	20	18	20	19	77	20	21	22	20	83
	非住宅着工 万㎡	1,019	1,027	1,008	1,084	4,138	1,072	1,238	1,138	1,223	4,671
自動車	完成車生産台数 万台	171	215	247	254	887	230	248	228	243	949
	完成車輸出台数 万台	76	101	117	115	409	118	120	128	131	497
	KDセット輸出 万セット	152	197	227	203	779	206	211	213	210	840
産業機械	大中型ショベル 千台	3	4	8	11	26	11	15	15	14	56
	金属工作機械 千トン	35	36	43	59	173	71	89	89	84	333
	フォークリフト 千台	14	19	20	24	77	25	27	29	30	112
造船	新造船起工 (当社推定) 万GT	455	455	445	445	1,800	506	392	440	440	1,778

(出所:各種統計資料・当社推定)

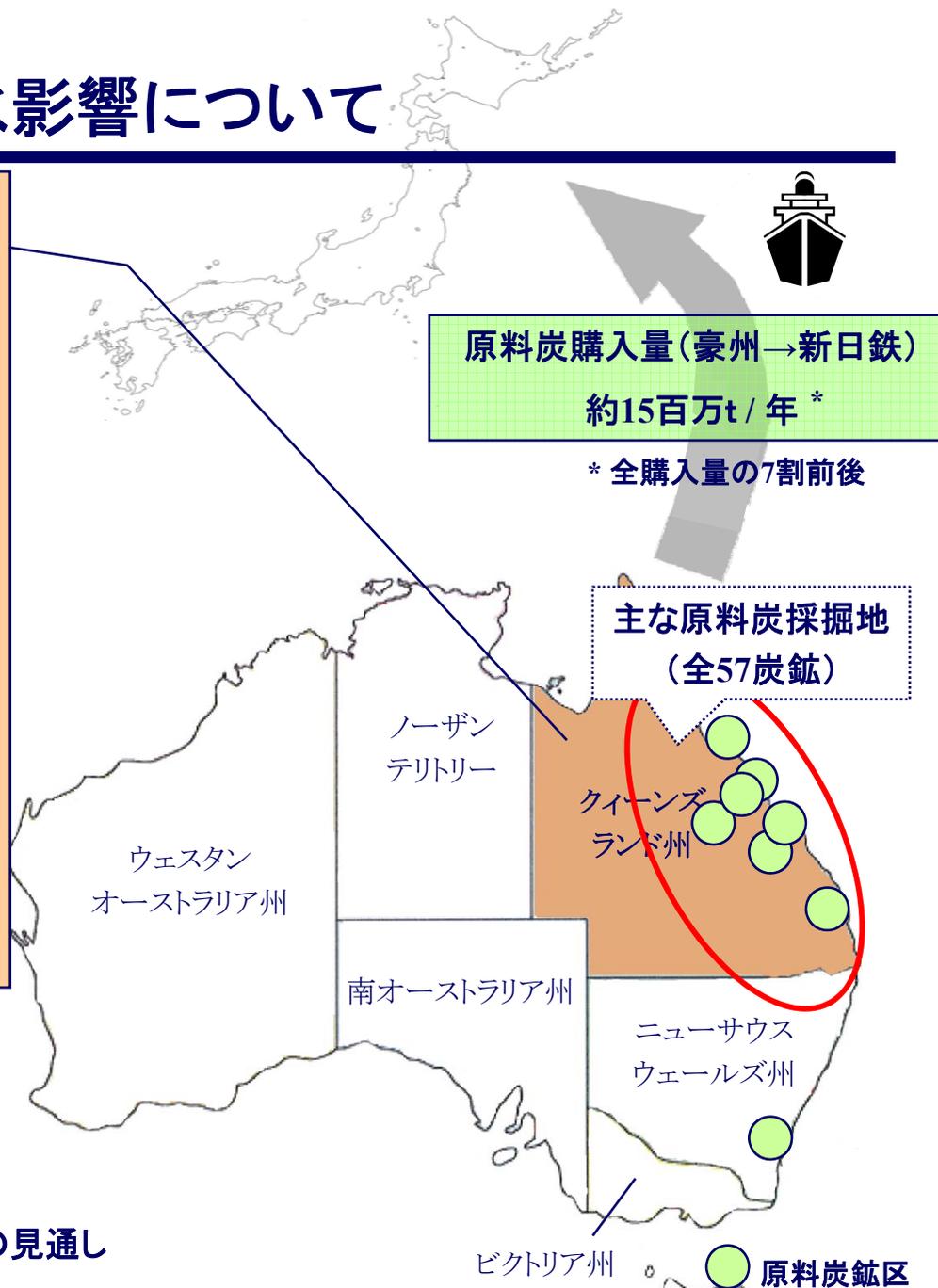
# 豪州 洪水影響について

## 豪州クィーンズランド州

- **原料炭海上貿易量**（'10CY見通し 当社推定）  
133 百万t/年（全世界海上貿易量 約5割のシェア）
- **洪水影響**
  - ・ '10/11月下旬～'11/1初旬に記録的豪雨
  - ・ 全57炭鉱のうち、一時、  
操業停止 約25%、減産被害 約60%
  - ・ 主要石炭鉄道4路線のうち、3線が一時運行停止
  - ・ 減産想定：約15百万t（'10/12～'11/3）
- **足元状況**
  - ・ 鉱山：複数炭鉱で生産再開（'11.1中旬時点）  
\* 再開規模は不明
  - ・ 鉄道：復旧、輸送再開（'11.1E情報）
- **懸念**
  - ・ サイクロンシーズン到来による自然災害の発生と、  
それによる復旧時期遅延・減産継続懸念

## 当社影響

- **数量影響**：豪州生産減少率見合いでの影響あり
- **対策と見通し**
  - ・ 代替ソース確保により生産影響回避努力中
  - ・ スポット購入、フレート増によるコストデメリット発生の見通し

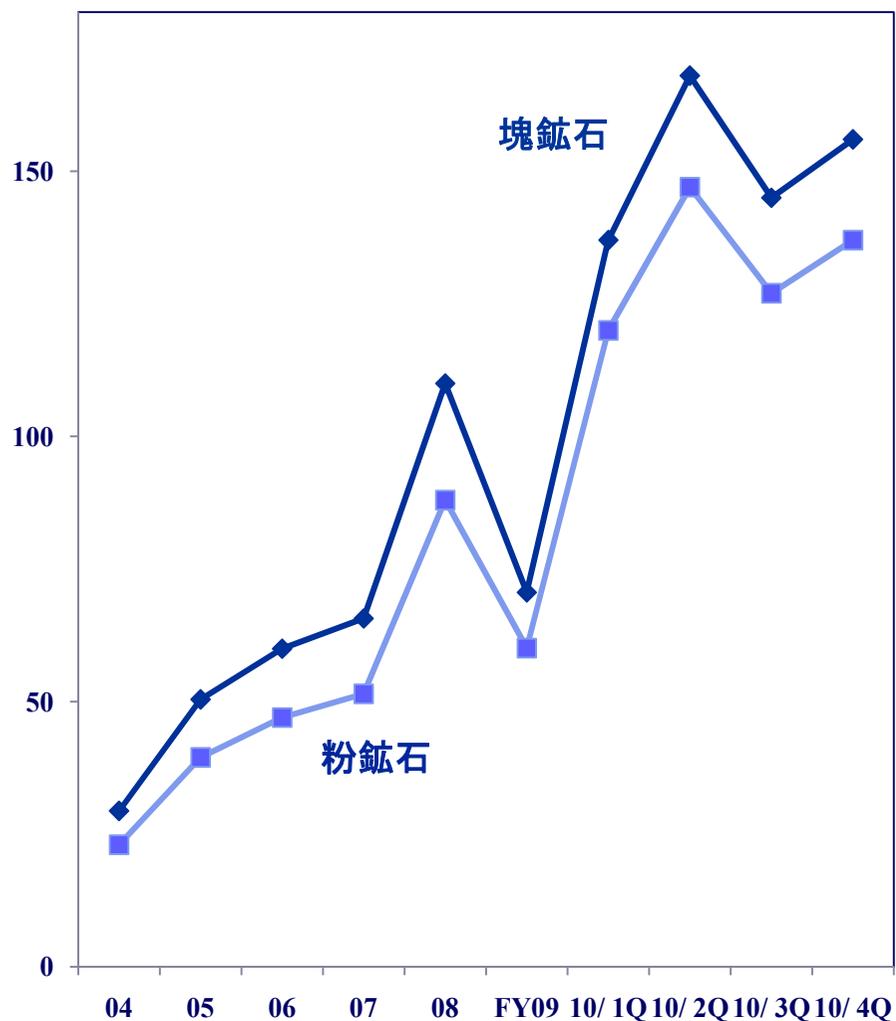


# 鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

## 鉄鉱石

(US\$/dmt)

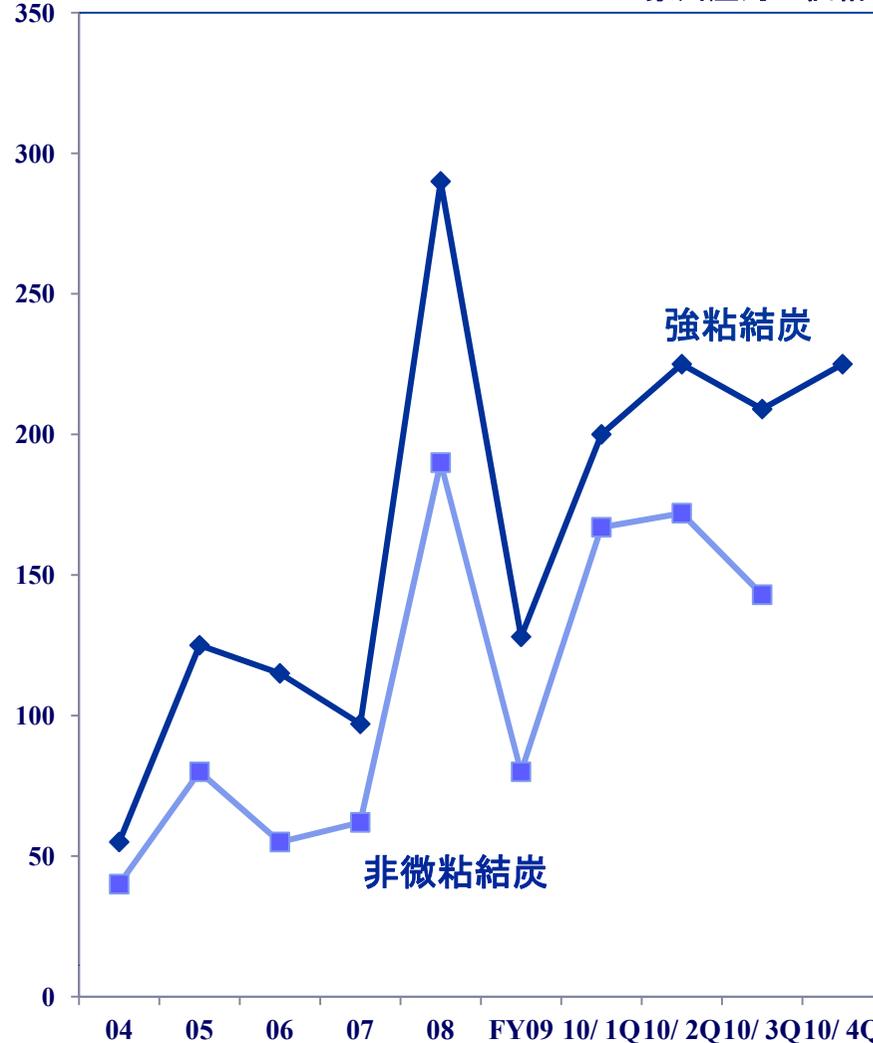
豪州ヘマタイト鉱対日価格



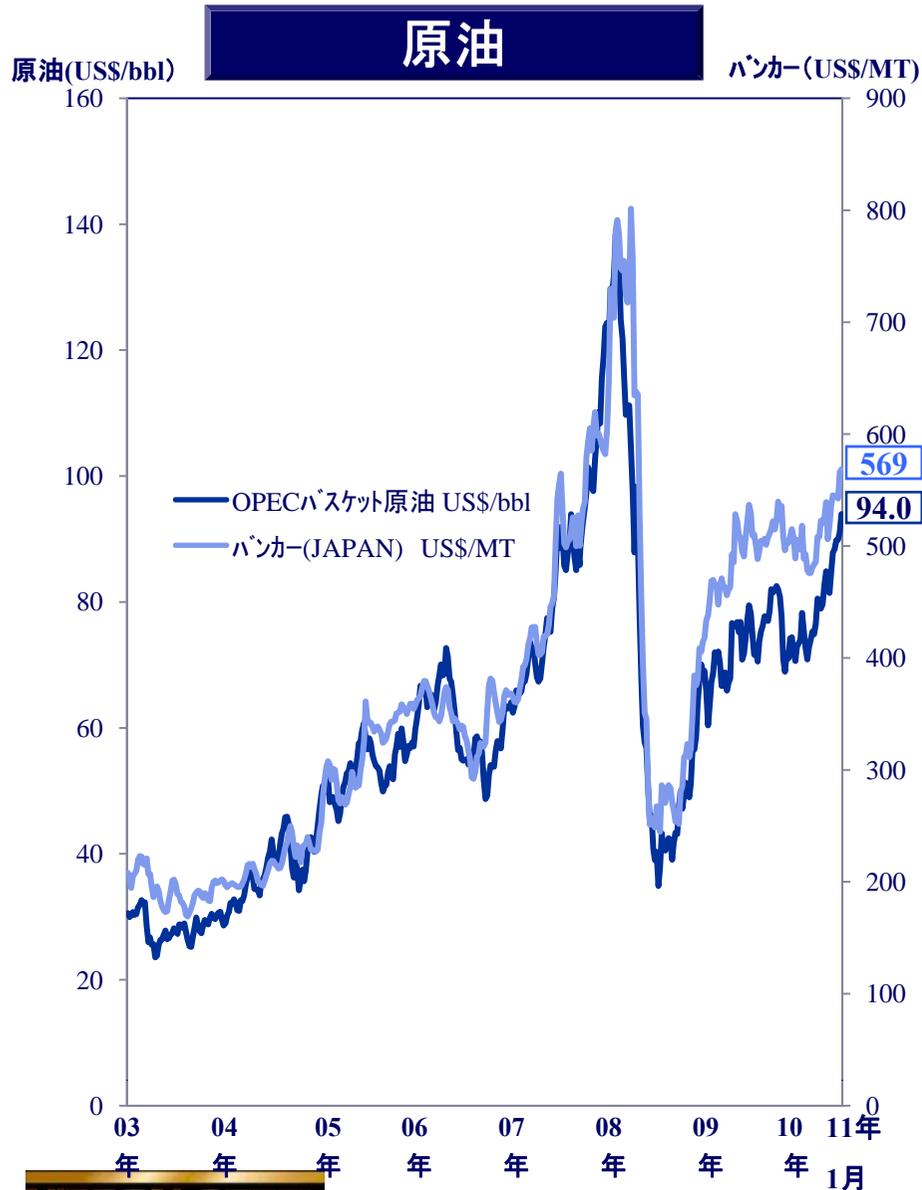
## 原料炭

(US\$/wmt)

豪州産対日価格



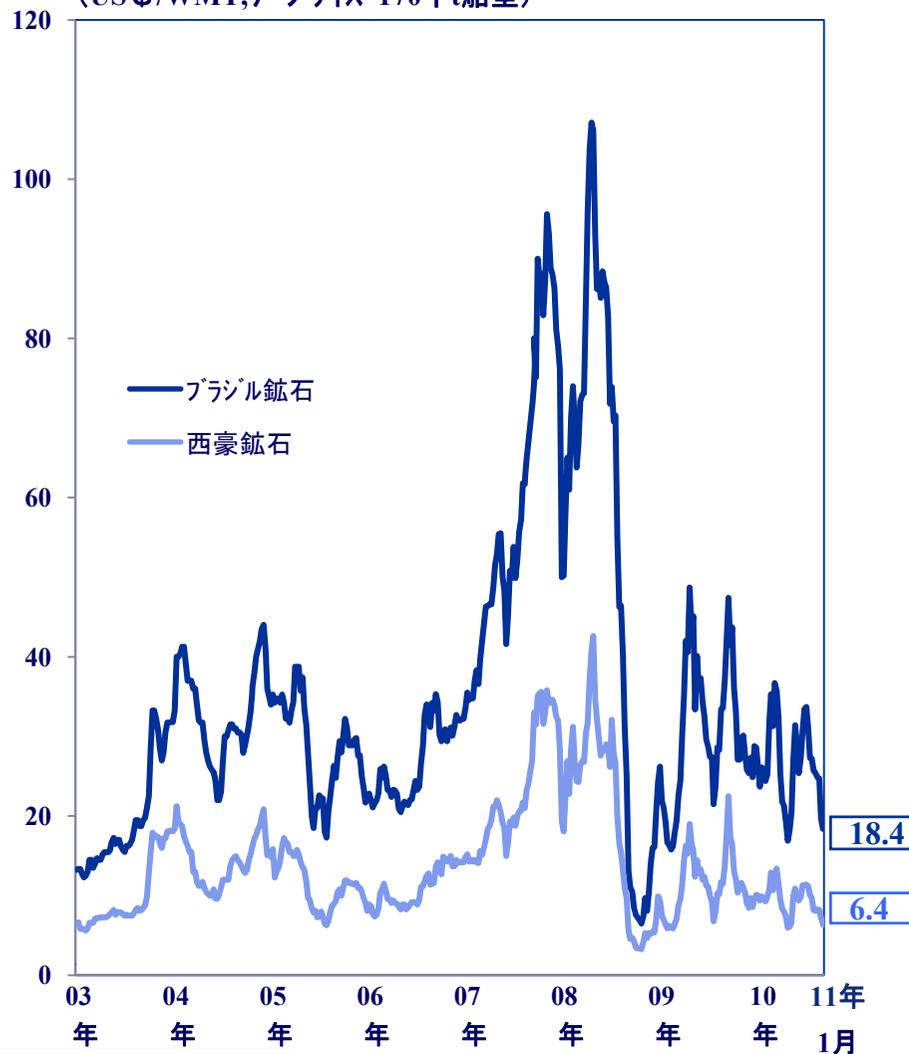
# 原料市況 <原油・スクラップ>



# 原料市況 <フレート・型鉄>

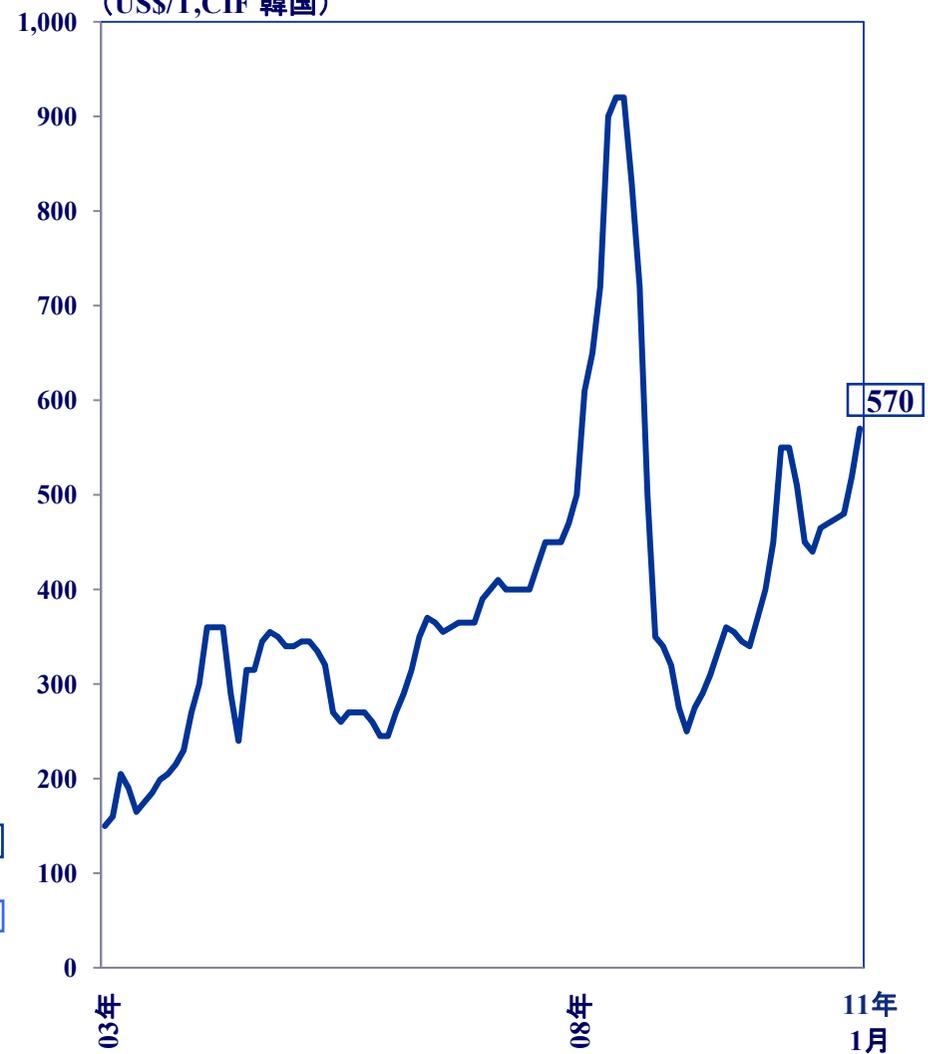
## フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

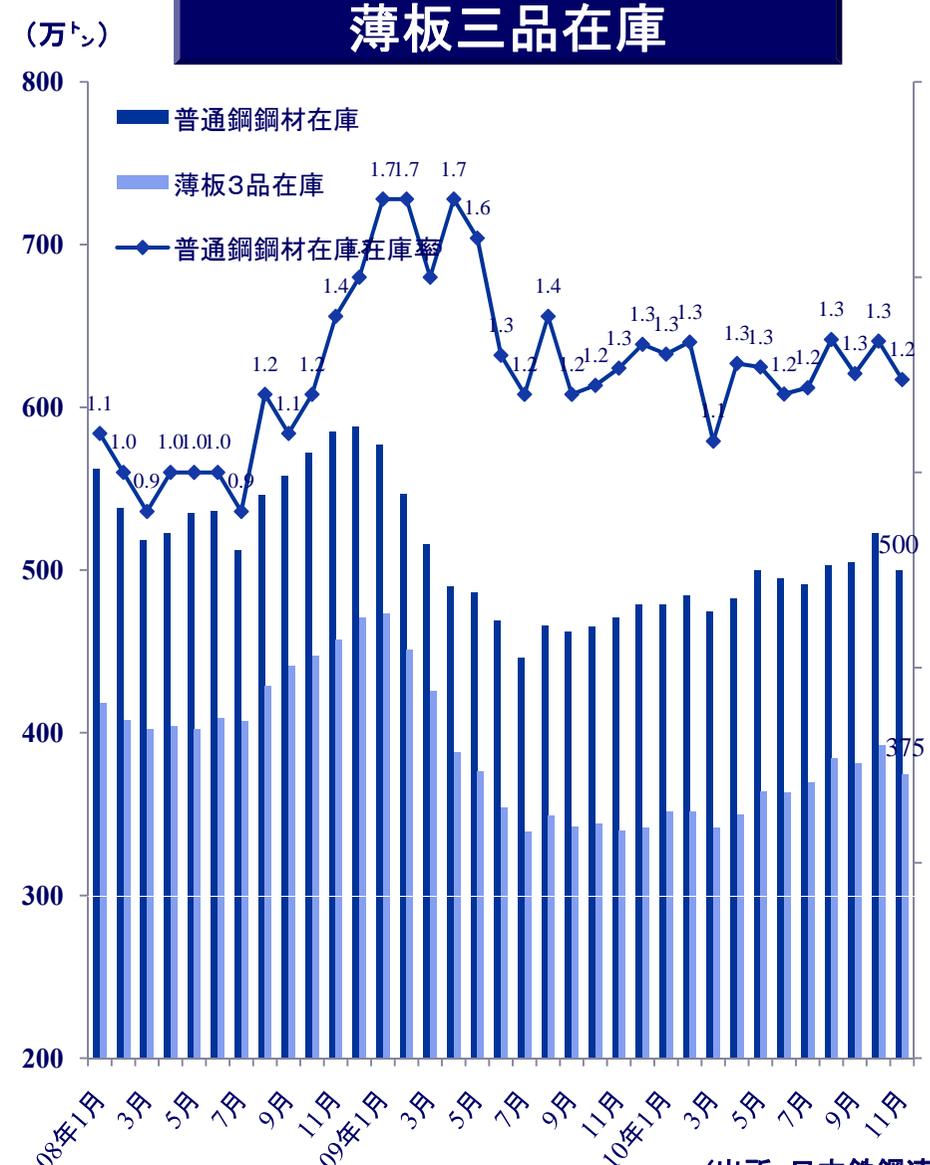
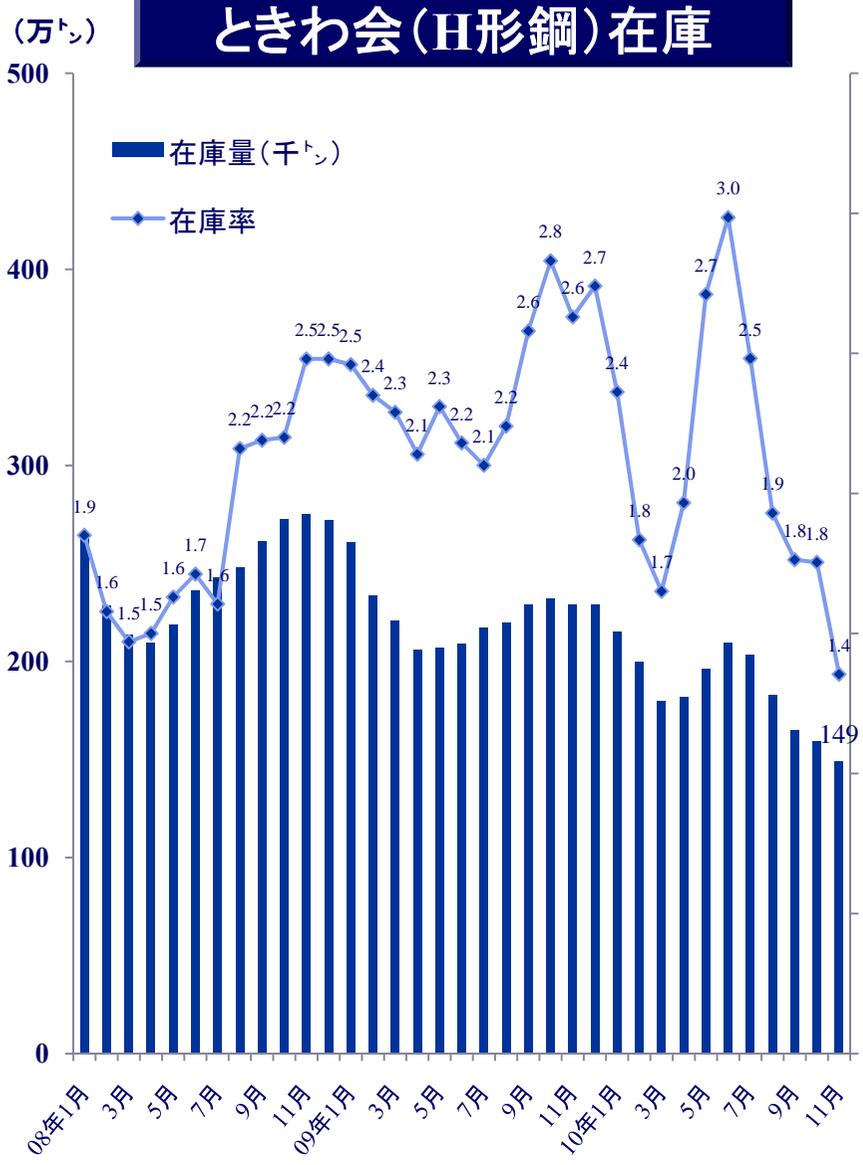


## 型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

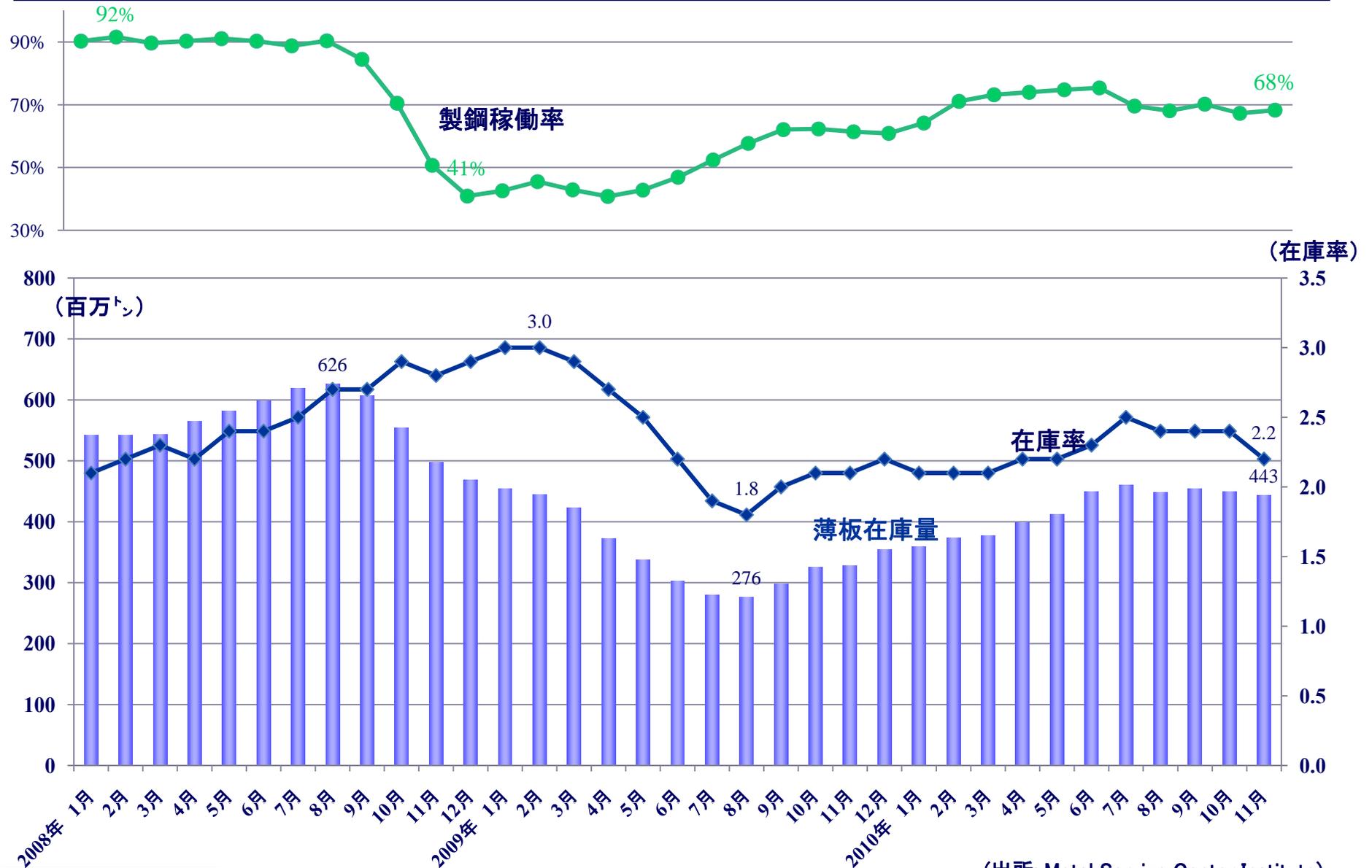


# 国内鋼材在庫推移



(出所:日本鉄鋼連盟)

# 米国鋼材在庫量・製鋼稼働率推移



(出所: Metal Service Center Institute)

# 当社と日経平均株価推移(2006年4月起点指数グラフ)



---

# 先進のその先へ、新日鉄

[www.nsc.co.jp](http://www.nsc.co.jp)

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。